

第9回国際伝統医薬シンポジウム・富山（2003）

- 主催 国際伝統医薬シンポジウム組織委員会
富山医科薬科大学・和漢薬研究所, 21世紀COE富山推進委員会
富山県
- 日時 平成15年10月11日（土）～12日（日）
- 会場 富山県民会館 304（富山市新総曲輪 4-18）
- 会議のテーマ 生活習慣病と伝統医学
- 会費 無料

本シンポジウムは本学が採択された21世紀 COE プログラム「東洋の知に立脚した個の医療の創生」の活動の一環であり、国際的な共同研究と人材養成を推進するための基盤となる「国際天然薬物共同研究センター」設置への足掛りとなるべく開催された。講師としては生活習慣病に関する研究の推進者であることは勿論の事ではあるが、研究所在籍経験者、研究所の若手研究者を積極的に登用した。開会式には 高久 晃 本学学長、鎌仲 博 富山県厚生部次長、文部科学省から 林 幸秀 科学技術・学術政策局長が出席して祝辞をのべた。参加者は186名、外国人招待講演者9名、日本人招待講演者は6名であった。また、総合討論においては国際天然薬物共同研究ネットワークの設立に関し、参加者からの賛同を得た。大会のプログラムを以下に記す。

10月11日（土） 学術討論会 第一日目

I. 生活習慣病一般

- 演題1 進化論的視点からみた生活習慣病の発症機構と伝統医学
丸山 征郎 教授（鹿児島大学・医学部）
- 演題2 ドイツで生活習慣病の治療に用いられる薬用植物
Luz Heide 教授（チュービンゲン大学・薬物生物学部, ドイツ）
- 演題3 伝統医学の老化防止への役割
Byung Pal Yu 教授（テキサス大学健康科学センター, 米国）

II. 糖尿病

- 演題4 糖尿病とその合併症の予防に向けた天然物由来の薬理
木村 郁子 教授（富山医科薬科大学・薬学研究科）
- 演題5 糖尿病予防への伝統薬物の役割
Purusotam Basnet 教授（ポカラ大学, ネパール）
- 演題6 桂枝茯苓丸による糖尿病性腎症治療の可能性
中川 孝子 博士（富山医科薬科大学・医学部）

III. 食物と生活習慣病

- 演題7 薬用食品に抗アレルギー, 抗肥満および胃保護作用成分を探る
吉川 雅之 教授（京都薬科大学）
- 演題8 エジプト産食用キノコの栄養および薬用価値
Mohamed Said Mohamed Hifnawy 教授（カイロ大学, エジプト）
- 演題9 老化の分子生物学的炎症仮説に基づいたハスとその成分の老化防止効果
鄭 海泳 教授（釜山大学薬学校, 韓国）

10月11日(土) 第二日目

IV. 肝疾患と免疫抑制

- 演題10 伝統医学とアルコール誘発肝障害
Pornpen Pramyothin 助教授 (チュラロンコン大学, タイ)
- 演題11 選択的免疫抑制作用を有する漢薬の成分—免疫抑制療法への新しい取り組み
徐 強 教授 (南京大学生命科学院, 中国)

V. 中 枢・循 環 器 系

- 演題12 脳卒中に用いられる伝統的中医薬処方抗高コレステロール血症, 抗酸化活性, およびフリーラジカル捕捉効果
林 俊清 教授 (高雄医科大学, 台湾)
- 演題13 神経回路網におけるシナプス再構築を機序とした抗痴呆作用を有する伝統薬物
東田 千尋 助手 (富山医科薬科大学・和漢薬研究所)
- 演題14 血管平滑筋細胞の情報伝達, 細胞周期の調節およびマトリックスメタロプロテアーゼ9における多重抑制機序
金 鉄虎 教授 (東国大学韓医学研究所, 韓国)
- 演題15 桂枝茯苓丸の血管保護作用
後藤 博三 助教授 (富山医科薬科大学・和漢薬研究所)

総合討論

(文責 服部征雄)